

問い合わせ先

海上保安庁交通部整備課安全システム開発室
主任安全システム開発技術官 野口 英毅
(代表)03-3591-6361 (内線 6801)
(夜間)03-3591-7913



平成24年11月9日
海上保安庁

次世代 AIS 国際標準化のためのワークショップの開催について

海上保安庁では、船舶自動識別装置 (AIS) の通信のさらなる大容量化・高速化を可能とする次世代 AIS について、その国際標準化を図ることを目的に、海洋政策研究財団の平成24年度海外交流基金事業の一環として、国内外の AIS 専門家を招き国際ワークショップを開催します。

また、一般の皆様を対象とした AIS 専門家による講演とパネルディスカッションを実施します。

1 概要

AIS は、船舶同士の衝突回避を目的として開発されたシステムです。海上における人命の安全のための国際条約 (SOLAS 条約) に基づき、平成20年7月までに対象となる船舶への搭載が完了しました。さらに、情報通信技術の進歩によって、AIS は衛星による船舶動静情報の収集に用いられるほか、捜索救助、航路標識など様々な分野で利用され、今まで以上に航海の安全等に貢献することが期待されています。

しかしながら、現状の AIS のまま利用が拡大されると、AIS 通信網が大量にやりとりされる情報によって圧迫され、円滑な通信ができなくなることが考えられます。そこで様々な情報を大容量かつ高速度で通信することのできる次世代 AIS の開発に向けて討議を行います。

2 日程等

月 日	内 容	場 所 等
12月3日 (月)	表敬訪問	海上保安庁
	パネルディスカッション	日本財団ビル2階大会議室
12月4日 (火)	会議	日本財団ビル2階第1~4会議室
12月5日 (水)	テクニカルツアー	独立行政法人海上技術安全研究所
12月6日 (木)	会議	日本財団ビル2階第1~4会議室
12月7日 (金)	会議	日本財団ビル2階第1~4会議室

3 パネルディスカッション

- (1) 日時 2012年12月3日(月)13時30分から17時30分
- (2) 場所 日本財団ビル2階大会議室(東京都港区赤坂1-2-2)
- (3) 内容 第1部: AIS 専門家による講演
第2部: AIS 専門家によるパネルディスカッション
- (4) 募集人員 約100名(先着順)
- (5) 申込方法 別添の申込用紙に必要事項を記入のうえ、11月26日(月)までに FAX
にてお申し込みください。参加費は無料です。
FAX 番号: 03-3591-5468

4 ワークショップ参加予定者

- (1) 国外参加者(国、所属)
 - Mrs. Jillian CARSON JACKSON (オーストラリア、海上安全庁)
 - Mrs. Margaret Jean BROWNING (カナダ、ExactEarth 社)
 - Mr. Stefan Karl BOBER (ドイツ、連邦水路海運庁)
 - Mr. Jan SAFAR (イギリス、総合灯台局電波航法研究所)
 - Mr. William David KAUTZ (アメリカ、沿岸警備隊)
 - Mr. Ross NORSWORTHY (アメリカ、沿岸警備隊)
 - Mr. Brian James TETREAULT (アメリカ、陸軍工兵隊)
- (2) 国内参加者
 - 今津 隼馬 (東京海洋大学名誉教授) その他学識経験者、AIS 機器製造業者

12月3日(月)のパネルディスカッション及び12月4日(火)の会議冒頭については、取材が可能です。
取材を希望される方は、「問い合わせ先」までご連絡ください。

次世代 AIS 国際標準化のためのワークショップ
パネルディスカッション申込用紙

下記欄に必要事項を記入のうえ、11月26日(月)までにFAXにてお申し込みください。

申込先 海上保安庁交通部整備課安全システム開発室

FAX : 03-3591-5468

氏名(ふりがな) 会社・所属 連絡先 メールアドレス	TEL	FAX
氏名(ふりがな) 会社・所属 連絡先 メールアドレス	TEL	FAX
氏名(ふりがな) 会社・所属 連絡先 メールアドレス	TEL	FAX
氏名(ふりがな) 会社・所属 連絡先 メールアドレス	TEL	FAX
氏名(ふりがな) 会社・所属 連絡先 メールアドレス	TEL	FAX